

平成 25 年度日本 N G O 連携無償資金協力
贈与契約署名式典
隈丸 優次 大使 スピーチ
平成 26 年 3 月 7 日（金） 於：大使館多目的ホール

公益財団法人結核予防会

JATA カンボジア事務所プログラムマネージャー Seak Kunrath 様、

ご列席の皆様、

本日は、公益財団法人結核予防会が日本 N G O 連携無償資金協力により実施する「プレイヴェン州ピアレン医療圏結核診断体制強化プロジェクト」の贈与契約に署名でき大変嬉しく思います。

公益財団法人結核予防会は、長年にわたりカンボジアで結核に対する支援活動を展開されてきておられ、日本政府が実施した結核対策プロジェクトにもご協力を頂きました。今回のプロジェクトもプレイヴェン州の結核感染予防に大きく貢献するものと期待しております。

日本政府は、1992 年よりトップドナーとして幅広い分野においてカンボジアの復興・開発を支援してきています。保健分野についても、国立結核センターをはじめとする医療施設の整備や人材育成を通じて、カンボジアの保健医療分野の改善に貢献してきています。

カンボジア政府の努力及び日本を含むドナーの支援により、近年、結核感染率は大きく改善しているものの、カンボジアは、未だ結核高負担国であり、感染率削減への取り組みが必要な状況が続いています。

公益財団法人結核予防会が、プレイヴェン州ピアレン医療圏で実施する事業は、結核予防支援事業をさらに促進するため、結核診断体制の強化を目的としていると承知しております。この事業の実施により、結核患者を早期に発見・治療することにより、地域における結核患者が減少することを期待しております。

最後になりますが、日本 N G O 連携無償資金協力は日本の N G O が実施する、草の根レベルに直接裨益する経済・社会開発事業に対して供与されるものです。本日署名した事業が対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願って、私からの挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。